

クロスランドおやべ再編化工事
基本計画検討委員会

意見書

令和4年3月

■ 目 次

1. クロスランドおやべの現状について	
(1) 整備までの経緯と設置目的	1
(2) クロスランドおやべで行われる事業の特徴	1
(3) 施設の利用状況	3
(4) 維持管理費用等	3
2. クロスランドおやべの課題について	
(1) 施設の維持管理における課題	5
(2) 施設の利用状況における課題	5
(3) 公共施設を取り巻く動き	6
(4) 検討委員会の設置	7
3. 改修費用の検討について	
(1) 改修費用の再算定方針	8
(2) 再算定結果	8
4. 今後の活性化について	13
5. 施設再編の方向性について	
(1) メインホールのあり方	15
(2) セレナホールのあり方	15
(3) クロスランドタワーのあり方	16
(4) 交流博覧館等のあり方	17
6. まとめ	18

資料編

① 委員名簿	21
② 検討経過	21
③ クロスランドおやべの利用状況	22
④ 類似施設との比較表	27

1. クロスランドおやべの現状について

(1) 整備までの経緯と設置目的

クロスランドおやべは、小矢部市において高速道路が交差し、かつ市域に3つのインターチェンジを有する地の利を生かし、文化・経済など様々な分野の地域間交流の拠点となること、また、市民の交流・憩いの場となることを目指して整備したものであり、平成6年5月1日にオープンした施設である。そもそも整備の経緯としては、小矢部市に本格的な舞台を有した文化ホールがなかったことから、市民の間に文化ホールを求める声が高まったことに端を発するものである。その声を受けて整備計画を策定し、国のリーディングプロジェクト事業の採択を受けて整備したものである。その過程において、地域間交流をテーマとした地域活性化を目指し、複合施設としての整備が決まったものである。

その設置目的は、クロスランドおやべ条例では、『文化、芸術、経済等の様々な分野の交流を推進し、広域的な地域間交流の拠点の形成と市民の社会生活の向上及び地域の活性化に寄与することを目的として、クロスランドおやべを設置する。』と規定しており、文化芸術の拠点のみならず、様々な交流の場としての機能も期待されて整備したものである。

クロスランドおやべの施設の特徴は、ホール機能及びスタジオ機能を有する「クロスランドセンター」、クロスランドタワー及びダ・ビンチテクノミュージアムからなる「交流博覧館」、直径200mの「交流広場」の3つの施設を核とし、パターゴルフ、おもしろ自転車、ミニ鉄道、大型遊具なども有する複合施設である点である。単なる文化ホールではなく、交流施設としての機能も有する施設であることから、この特徴を活かした各種事業をこれまで行ってきた。

なお、高さ118mのクロスランドタワーは、田園が広がる散居村に高くそびえることで、市内のみならず市外からもクロスランドおやべの位置を示し、存在をアピールする「ランドマーク」としての機能を果たしており、小矢部市の代名詞的役割と共に、市民の心のシンボルともなっている。

(2) クロスランドおやべで行われる事業の特徴

先に述べたとおり、クロスランドおやべでは複合施設であることを活かした各種事業を行っているが、主な事業については下記のとおりである。

①メインホールを活用した事業

<施設の特徴> 床回転機構により客席と平土間の転換が可能

- ・市成人式等の各種式典（客席）
- ・コンサートや演劇、落語等の芸術鑑賞事業（客席）
- ・市新年会や市農業祭などの行事（平土間）
- ・展示即売会等のイベント（平土間）
- ・ロックバンドライブ等（平土間）

②セレナホールを活用した事業

<施設の特徴> 音響反射効果の高い音楽専用ホール

- ・ピアノ発表会や吹奏楽演奏等の楽器演奏
- ・小規模な式典
- ・民謡、日本舞踊等の伝統文化の発表会
- ・県文化ホールネットワーク公演事業ホールシネマ

③交流広場を活用した事業

<施設の特徴> 直径200mの芝生広場と屋外舞台

- ・ヘリコプター&防災・防犯フェスティバル
- ・盆踊り&花火大会
- ・ミニSLフェスタ in おやべ
- ・水ロケット競技会
- ・おやべ4時間リレーラン
- ・少年サッカー等の各種スポーツイベント

④クロスランドタワーを活用した事業

<施設の特徴> 360度のパノラマを有する地上高100mの展望階

- ・空中カフェ
- ・平日夜間の展望階貸し出し事業
- ・クリスマスタワーライティング
- ・「恋人の聖地」事業

上記各種事業のうち、他にはない特徴的な事業としては、「ヘリコプター&防災・防犯フェスティバル」、「ミニSLフェスタ in おやべ」、「空中カフェ」、「クリスマスタワーライティング」などが挙げられる。

なお、これまで、クロスランドおやべで行われてきた自主事業・共催事業等は、四季ごとのフェスティバルとして開催されてきており、主なものを例示する。

△＝貸館事業

	月	主な事業名	施設名
春(スプリングフェスティバル)	4月	クロスランド芸術祭 ミステリーツアー	メインホール メインホール・タワーほか
	5月	スイング・パーティー (ジャズ) 水ロケット競技会 ラジコングランプリ	セレナホール 交流広場 タワー第1駐車場特設コース
	6月	音楽ライブコンサート	メインホール
夏(サマーフェスティバル)	7月	夏の空中カフェ	タワー
	8月	盆踊り&花火大会 市内中学校吹奏楽部合同演奏会 ラジコングランプリ ヘリコプター&防災・防犯フェスティバル	交流広場ほか メインホール タワー第1駐車場特設コース 交流広場・メインホールほか

秋(オータムフェスティバル)	9月	ロックバンドライブコンサート △おやべ4時間リレーラン ミニSLフェスタ in おやべ	メインホール (オールスタンディング) 交流広場ほか 交流広場ほか
	10月	クラシックコンサート 秋の空中カフェ △小矢部市吹奏楽団定期演奏会	セレナホール タワー セレナホール
	11月	△市農業祭 ロックバンドライブコンサート おやべイルミ (~1月まで)	メインホールほか メインホール (オールスタンディング) 交流博覧館ほか
冬(ウィンターフェスティバル)	12月	△柔道スポ少交流大会 クリスマスタワーライティング 落語演芸会	メインホール タワー メインホール
	1月	△元旦マラソン	外周路等
		△市成人式	メインホール
		△市新年会	メインホール
		幼児フットサル大会 キッズユニホック ホールシネマINとやま	メインホール メインホール セレナホール
2月	ホールシネマINとやま △市教育大会	セレナホール セレナホール	
3月	クロスランドカップ (サッカー)	交流広場	

※商品展示会、即売会等が、随時、メインホール（平土間）で開催されている。

※ピアノ発表会等が、随時、セレナホールで開催されている。

(3) 施設の利用状況

各施設の利用状況については、22ページから26ページまでの資料編③のとおりである。直近の数値は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいため、その影響を受ける前の年度のデータを示している。

また、27ページの資料編④では、公立文化施設の運営情報調査報告（全国公立文化施設協会調べ：平成30年度実績）により、類似団体や類似施設との比較を行っている。なお、同報告書は、人口10万人未満の自治体の平均値を示しており、人口3万人弱の小矢部市と単純比較できないことに注意が必要である。

(4) 維持管理費用等

施設の維持管理費用についても、当該運営情報調査報告により、類似団体との比較を行った結果は、27ページの資料編④のとおりである。

ここでは、クロスランドおやべの維持管理費用が類似団体に対して高くなっている

が、これは、他の施設では文化ホールのみ維持管理費用が計上されているのに対し、クロスランドおやべにおいては、電気・給排水等の諸設備が全施設一体的に管理されているため、交流広場やクロスランドタワーの維持管理なども含めた施設全体の維持管理費用が計上されていることによる。クロスランドおやべは文化施設としての機能、公園機能、観光機能などを有する複合施設であるため、他の文化ホールとは同一の指標での比較ができないものであり、資料編④の比較値は、この点を踏まえて見る必要がある。

2. クロスランドおやべの課題について

(1) 施設の維持管理における課題

クロスランドおやべは、平成6年5月にオープンしてから27年が経過している。公益財団法人クロスランドおやべ職員による日常点検及び専門業者による保守点検を行いながら、必要な改修をこれまでも行ってきたが、経年劣化による各施設の老朽化は否めず、改修が必要な個所が多くなってきている。そのため、改修に必要な費用が増加傾向にある。

今後の予防保全に伴う必要な改修費用については、平成29年度に約41億円必要（P19H29算定の改修費用の合計欄）との積算結果があり、市の財政状況を考慮すると、その改修費用を捻出することは難しく、改修費用の削減は重要な課題となっている。

また、クロスランドおやべは利用料金制の指定管理者制度を導入しており、指定管理者である公益財団法人クロスランドおやべ（以下「財団」という。）においては、財団の自己努力によって増加した収入は財団の収入となり、当初の計画以上にイベントの拡充や施設改善に取り組むことができる。一方、利用料金収入が低下した場合は、イベントの縮小や施設の維持管理に充てる費用の減少により対応せざるを得なくなることから、運営上は常に、利用料金の確保・増加に努めることが求められている。

利用料金制の指定管理者制度とは

市の施設の管理運営全般を民間業者等に委託する制度が指定管理者制度である。一般的に公共施設の「使用料」は、市に納められるが、条例において「利用料金」制を採用した場合は、施設利用者が支払う施設利用料金は、指定管理者が受け取ることとなる。そのため、指定管理者の創意工夫により、利用料金収入が増加した場合は、指定管理者の収入が増加することになる。換言すれば、指定管理者の創意工夫を促すことに繋がる制度であり、指定管理者制度の導入施設は、利用料金制を採用することが多い。

(2) 施設の利用状況における課題

メインホール及びセレナホールの稼働率は、先に示したとおり、人口10万人未満の類似団体・座席数500～1000席の類似施設との比較において、やや低い傾向にある。そのうえ、新型コロナウイルス感染症の影響により、近年はますます稼働率が低い状況になっている。

また、クロスランドタワーの搭乗者数や搭乗収入においては、平成27年度に上昇がみられたが、その後、緩やかな下降傾向にあり、何らかのテコ入れが必要である。空中カフェという取り組みを行うことが下降傾向に歯止めをかけることに一定の成果があったと考えられるが、全体として下降傾向自体は変わらない状況にある。

両ホール及びクロスランドタワーをはじめ、各施設の稼働率や入場者数の減少傾向に歯止めをかけ増加に転じさせることが、大きな課題である。

クロスランドおやべは、開館以来の様々なイベント等の開催により、周辺地域では高い認知度があるものの、県外への広域的な認知度は、まだ不十分と考えられる。広域的

なPR活動を強めると共に、SNSなどの時代に合ったPR方法を活用することで、クロスランドおやべのもつ広域的な集客能力をより高めることが望ましい。特に、施設の有する魅力のアピールや、ターゲットを絞った情報発信活動により、県内や周辺地域の人々からも「選ばれる」施設となっていくことが必要と考える。

実施事業については、例年行っている事業はそれぞれ成果を上げているものもあるが、その中でマンネリ化は生じていないか、知名度や集客力の向上に資する事業となっているか、あるいは、その事業の実施による効果が低下していないか、などを十分に分析し、見極めることが課題である。

（３）公共施設を取り巻く国・市の動き

高度成長期の社会需要の急激な増大に対応するため大量に整備された公共施設が、今後、大量更新を迎えることから、その更新費用の財政負担が国、地方自治体ともに大きくなることになる。そのため、国は、各自治体において、公共施設全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・廃止を計画的に行うことで更新費用が削減されるよう、「公共施設等総合管理計画」の策定を要請した。また、公共施設等総合管理計画に基づき、更新や除却を行う場合の財政措置を講じるなど、公共施設の適切な管理について支援を行っている。

小矢部市においては、前述の国の要請に基づき、下記の各種計画等を策定したところである。

- ・小矢部市公共施設白書（平成27年6月策定）
- ・小矢部市公共施設等総合管理計画（平成29年3月策定）
- ・小矢部市公共施設再編計画（平成30年6月策定）（以下「再編計画」という。）

なお、再編計画を策定する前段階として、平成29年度にクロスランドおやべ改修費用の積算を業務委託して行っている。この時には、現在の機能を全て維持しつつ、予防保全型維持管理の考え方により計画的に改修を行った場合の費用として、約41億円が必要との積算であった。

再編計画は、個別施設の具体的方針を示したものである。クロスランドおやべについては、先述の改修費用の積算も考慮し、市の財政状況では約41億円の改修費用を捻出することは困難であることから、下記のとおり方針が示されたものである。

＜基本的な考え方＞

築後30年を目途に必要なとなる大規模改修に係る更新費と今後の維持管理の軽減を図る。

＜再編方針＞

- ・メインホール⇒予防保全により、施設・設備の長寿命化を実施
- ・セレナホール⇒ホール機能の見直し
- ・クロスランドタワー⇒施設利用に支障をきたす大きな不具合が発生した時点で利用停止
- ・その他⇒その他の施設機能を複合化

※注 複合化の定義：異なる機能を有する施設を集約すること

(4) 検討委員会の設置

上記の再編方針では、セレナホールの機能見直しを検討することとなっているが、そのためにはメインホールの機能でその代替ができるかなど、併せて検討する必要がある。また、基本的な考え方にあるように、更新費の軽減に努める必要があることから、今後約30年間に必要な改修費用について、削減が可能か検討する必要がある。

そのため、ホール機能の見直しのあり方及び今後の改修費用を検討するため、本検討委員会が設置された。本検討委員会では各委員からの意見を踏まえ、クロスランドおやべの今後の方向性を示す意見書を本書のとおり提出するものである。

3. 改修費用の検討について

先に述べたとおり、改修費用の再算定を行うにおいては、その前提として、今ある資産を有効に活用する方策があるのかどうかを最優先に検討すべきと考える。使えるものをあえて壊して使えなくする場合は、市民コンセンサスを得る必要がある。一方、改修費用が過大であれば、市の財政状況に応じた改修費用の縮減が必要となってくる。

このことから、改修費用全体を削減する方策を検討するとともに、メインホール及びセレナホールのホール機能の見直しを検討するため、平成29年度に積算した改修費用について再算定を行った。なお、その再算定の方針は下記のとおりとした。

(1) 改修費用の再算定方針

<共通>

- ・今後30年間、施設を維持することを前提に、必ず必要な費用を予防保全として見込み、それ以外は事後保全として見込む
- ・外壁改修、屋上防水は、躯体に係る改修であり予防保全対応とする
- ・特定天井の改修は安全に関する事項なので予防保全対応とする
- ・設備等は、必要最小限の改修範囲とする
- ・機能向上策（バリアフリー化、省エネ化等）は再算定に加えない

<メインホール>

- ・床の回転機構の有無及び改修方法の比較検討を行う

<セレナホール>

- ・音響反射を考慮した改修の有無及び改修方法の比較検討を行う
- ・解体した場合の費用との比較検討を行う

<クロスランドタワー>

- ・大規模改修とならないエレベーター改修の範囲の検討と、それにより削減される改修費用の検討を行う

<交流博覧館等>

- ・最小限の改修範囲としての改修費用の検討を行う

※注 予防保全と事後保全の定義

予防保全 施設の長寿命化を図るため耐用年数を踏まえ計画的に改修すること

事後保全 故障や不具合が生じたり生じる恐れがあってから改修すること

(2) 再算定結果

再算定結果は、10ページのとおりである。11、12ページは、各施設における主な改修内容について、予防保全改修対象のものと事後保全改修対応のものを示した比較表である。事後保全改修対応としたものについては、10ページに示した事後保全改修費用において対応するものとする。

なお、各施設の比較検討のパターンについては、下記のとおりである。

<メインホール>

- ・床回転機構を維持するか、固定するかの2パターンで比較

- ・改修範囲を最小限にするかどうかの2パターンで比較
- ・上記を組み合わせた4パターンで比較検討

<セレナホール>

- ・音響反射を考慮した場合と考慮しない場合の2パターンで比較。なお、音響反射を考慮しない改修内容とした場合においても、音響や照明は必要になるため、特定天井の形状以外は同じ改修内容とする。
- ・改修範囲を最小限とするかどうかのパターンでも比較
- ・解体する場合のパターンとも比較
- ・上記を組み合わせた4パターンで比較検討

<クロスランドタワー>

- ・エレベーターの改修については、既存不適格の改修を求められる大規模改修とはならない範囲において、改修が可能かどうかを検討
- ・外壁、屋上防水の予防保全改修のみとする
- ・その他は事後保全改修対応とする

<交流博覧館等>

- ・外壁、屋上防水の予防保全改修のみとする
- ・その他は事後保全改修対応とする

既存不適格について

「既存不適格」とは、建築当時の建築基準法には適合していたものが、その後の法律改正により、改正後の建築基準法の基準に適合しない状態となったものをいう。建築基準法は、災害や大きな事故が起きるたびに耐震性や安全性の基準を引き上げていることから、改正の都度、既存不適格が生じているのが実態である。

建築基準法では、現在建っている全ての建築物に対し、法に適合した改修を求めておらず、次の大規模改修を行う際に、該当箇所についても法に適合させた改修を行うよう求めている。従って、既存不適格箇所があること自体は違法ではなく、大規模改修を行う際の対応において、法の適否が問われるものである。

クロスランドおやべにおける既存不適格は、平成21年及び平成26年の法改正に伴うものであり、該当箇所は次の箇所である。

1. メインホール特定天井
2. エントランスホール特定天井
3. セレナホール特定天井
4. クロスランドタワーエレベーターの円筒形のカゴ

1～3については、それぞれの箇所について、屋上防水、外壁改修等の大規模改修を実施する際に、特定天井の耐震対策が必要となる。(特定天井のみを先行して実施する必要はない。)

4については、エレベーターの一式全てを取り換える大規模改修の際に、円筒形のカゴを四角形のカゴに変更することが必要となる(エレベーターのワイヤロープ取替、制御盤基盤の取替等の小規模修繕においては、円筒形のカゴを変更する必要はない。)

■クロスランドおやべ改修費用再算定結果

(1) メインホールの床回転機構の有無についての比較

単位：円

メインホール	床回転機構維持 A	床機構固定 B	床回転機構維持 (改修最小) C	床機構固定 (改修最小) D
特定天井改修 (メインホール)	24,153,800	24,153,800	24,153,800	24,153,800
特定天井改修 (エントランスホール)	30,280,525	30,280,525	30,280,525	30,280,525
床機構	585,244,000	0	57,244,000	0
床機構の固定 (客席、平土間のいずれか)		110,000,000		110,000,000
舞台関係機構	213,864,200	213,864,200	12,925,000	12,925,000
舞台制御盤関係	97,570,000	63,030,000	97,570,000	63,030,000
空調関係	112,177,120	112,177,120	112,177,120	112,177,120
外壁・屋上防水	198,000,000	198,000,000	198,000,000	198,000,000
客席照明設備	8,222,500	8,222,500	8,222,500	8,222,500
舞台音響設備	108,275,750	108,275,750	87,829,500	87,829,500
舞台照明設備	224,415,125	224,415,125	214,902,875	214,902,875
建築関係 (電気・給排水等)	0	0	0	0
小計	1,602,203,020	1,092,419,020	843,305,320	861,521,320

(2) セレナホールのホール機能の見直し及び解体との比較

単位：円

セレナホール	特定天井音響 反射あり E	特定天井音響反射あり (改修最小) F	特定天井音響反射なし (改修最小) G	解体撤去 H
特定天井改修	47,219,563	47,219,563	27,500,000	0
舞台関係機構・制御盤関係	29,810,000	29,810,000	29,810,000	0
空調関係	11,000,000	11,000,000	11,000,000	0
外壁・屋上防水	50,875,000	50,875,000	50,875,000	0
舞台音響	68,994,750	40,356,250	40,356,250	0
舞台照明	101,662,000	97,784,500	97,784,500	0
建築関係 (電気・給排水等)	0	0	0	0
解体撤去 (地下部分も撤去)・補修	0	0	0	82,500,000
解体跡整地	0	0	0	7,837,500
小計	309,561,313	277,045,313	257,325,750	90,337,500

(3) タワー改修費用

単位：円

クロスランドタワー	最小限改修 I
エレベーター改修	17,688,000
外壁・屋上防水	74,000,000
建築関係 (電気・給排水等)	0
小計	91,688,000

(4) 博覧館等改修費用

単位：円

交流博覧館等	最小限改修 J
エレベーター改修	0
外壁・屋上防水	74,000,000
建築関係 (電気・給排水等)	0
小計	74,000,000

(5) 事後保全改修費用

R1～R3工事費平均額 27,350千円×30年＝820,500千円

(6) 予防保全改修費用比較 (組み合わせ)

単位：円

組み合わせ	予防保全改修費用合計
① メイン維持A+セレナ音響反射維持E+タワー+博覧館	2,077,452,333
② メイン維持A+セレナ音響反射維持最小F+タワー+博覧館	2,044,936,333
③ メイン維持A+セレナ音響反射無視最小G+タワー+博覧館	2,025,216,770
④ メイン維持A+セレナ解体H+タワー+博覧館	1,858,228,520
⑤ メイン固定B+セレナ音響反射維持E+タワー+博覧館	1,567,668,333
⑥ メイン固定B+セレナ音響反射維持最小F+タワー+博覧館	1,535,152,333
⑦ メイン固定B+セレナ音響反射無視最小G+タワー+博覧館	1,515,432,770
⑧ メイン固定B+セレナ解体H+タワー+博覧館	1,348,444,520
⑨ メイン維持最小C+セレナ音響反射維持E+タワー+博覧館	1,318,554,633
⑩ メイン維持最小C+セレナ音響反射維持最小F+タワー+博覧館	1,286,038,633
⑪ メイン維持最小C+セレナ音響反射無視最小G+タワー+博覧館	1,266,319,070
⑫ メイン維持最小C+セレナ解体H+タワー+博覧館	1,099,330,820
⑬ メイン固定最小D+セレナ音響反射維持E+タワー+博覧館	1,336,770,633
⑭ メイン固定最小D+セレナ音響反射維持最小F+タワー+博覧館	1,304,254,633
⑮ メイン固定最小D+セレナ音響反射無視最小G+タワー+博覧館	1,284,535,070
⑯ メイン固定最小D+セレナ解体H+タワー+博覧館	1,117,546,820

再算定における各種設備改修内容比較表

■メインホール関係改修内容一覧		予防保全対象				事後保全対象			
項目名	主な改修内容	A案	B案	C案	D案	A案	B案	C案	D案
特定天井改修	メインホール特定天井改修	○	○	○	○				
	エントランスホール特定天井改修	○	○	○	○				
床機構改修	油圧ホース更新	○	-	○	-		-		-
	油圧シリンダー予備品購入	○	-	○	-		-		-
	油圧バルブ更新	○	-	○	-				
	油圧シリンダー更新		-		-	○	-	○	-
	昇降装置駆動部更新	○	-		-		-	○	-
床機構固定	床機構固定	-	○	-	○	-		-	
舞台関係機構改修	手動吊物ワイヤロープ更新	○	○	○	○				
	舞台諸幕更新	○	○					○	○
	自動巻上機駆動部更新	○	○					○	○
舞台制御盤改修	吊物制御盤更新	○	○	○	○				
	迫り(床機構)PLC機器更新	○	-	○	-		-		-
	迫り(床機構)制御盤更新	○	-	○	-		-		-
空調改修	冷温水発生器更新	○	○	○	○				
	冷却塔更新	○	○	○	○				
	中央監視装置改修	○	○	○	○				
	配管関係改修					○	○	○	○
外壁改修	補修工事	○	○	○	○				
	下地張り	○	○	○	○				
	防水塗り	○	○	○	○				
屋上防水改修	アスファルト露出防水改修	○	○	○	○				
	笠木改修	○	○	○	○				
	シーリング打ち替え	○	○	○	○				
客席照明改修	水銀灯⇒LED灯へ更新	○	○	○	○				
舞台音響設備改修	音響調整卓更新	○	○	○	○				
	パワーアンプ更新	○	○	○	○				
	プロセニウムスピーカー更新	○	○	○	○				
	サイドスピーカー更新	○	○	○	○				
	移動型スピーカー更新	○	○					○	○
	吊マイク装置更新	○	○					○	○
舞台照明設備改修	白熱灯⇒ハロゲン灯へ更新	○	○	○	○				
	調光設備制御盤更新	○	○	○	○				
	調光操作卓更新	○	○	○	○				
	ピンスポットライト更新	○	○					○	○
建築関係	トイレ洋式化					○	○	○	○
	照明LED化					○	○	○	○
	省エネサッシ更新	-	-	-	-	-	-	-	-
	内装工事	-	-	-	-	-	-	-	-
	電気設備関係改修					○	○	○	○
	防火設備関係改修					○	○	○	○
	給排水設備改修					○	○	○	○

■セレナホール関係改修内容一覧		予防保全対象				事後保全対象			
項目名	主な改修内容	E案	F案	G案	H案	E案	F案	G案	H案
特定天井改修	特定天井改修(音響反射効果あり)	○	○		-				-
	特定天井改修(音響反射効果なし)			○	-				-
舞台関係機構・制御盤改修	吊物ワイヤロープ更新	○	○	○	-				-
	吊物制御盤更新	○	○	○	-				-
空調改修	空調送風機改修	○	○	○	-				-
	配管関係改修				-	○	○	○	-
外壁改修	補修工事	○	○	○	-				-
	下地張り	○	○	○	-				-
	防水塗り	○	○	○	-				-

屋上防水改修	アスファルト露出防水改修	○	○	○	-				-
	笠木改修	○	○	○	-				-
	シーリング打ち替え	○	○	○	-				-
舞台音響設備改修	音響調整卓更新	○	○	○	-				-
	パワーアンプ更新	○	○	○	-				-
	メインスピーカー更新	○			-		○	○	-
	移動型スピーカー更新	○			-		○	○	-
	吊マイク装置更新	○			-		○	○	-
舞台照明設備改修	白熱灯⇒ハロゲン灯へ更新	○	○	○	-				-
	調光設備制御盤更新	○	○	○	-				-
	調光操作卓更新	○	○	○	-				-
	ピンスポットライト更新	○			-		○	○	-
建築関係	トイレ洋式化				-	○	○	○	-
	照明LED化				-	○	○	○	-
	省エネサッシ更新	-	-	-	-	-	-	-	-
	内装工事	-	-	-	-	-	-	-	-
	電気設備関係改修				-	○	○	○	-
	防火設備関係改修				-	○	○	○	-
	給排水設備改修				-	○	○	○	-
解体撤去・補修工事	解体・開口部補修工事				○				
解体跡整地	跡地整地工事				○				

■クロスランドタワー関係改修内容一覧

項目名	主な改修内容	予防保全対象 I案	事後保全対象 I案
エレベーター改修	制御盤更新	○	
	モーター更新	○	
	操作盤更新	○	
	ワイヤロープ取替		○
外壁改修	補修工事	○	
	下地張り	○	
	防水塗り	○	
屋上防水改修	シート防水改修	○	
	シーリング打ち替え	○	
建築関係	トイレ洋式化		○
	照明LED化		○
	省エネサッシ更新	-	-
	内装工事	-	-
	電気設備関係改修		○
	防火設備関係改修		○
	給排水設備改修		○

■交流博覧館等関係改修内容一覧

項目名	主な改修内容	予防保全対象 J案	事後保全対象 J案
エレベーター改修	エレベーター入れ替え	-	-
外壁改修	補修工事	○	
	下地張り	○	
	防水塗り	○	
屋上防水改修	アスファルト露出防水改修	○	
	笠木改修	○	
	シーリング打ち替え	○	
建築関係	トイレ洋式化		○
	照明LED化		○
	省エネサッシ更新	-	-
	内装工事	-	-
	電気設備関係改修		○
	防火設備関係改修		○
	給排水設備改修		○

4. 今後の活性化に向けて

再算定の結果、改修費用を削減することが可能との算定結果となったが、本委員会としては改修費用が削減されただけでは不十分と考える。なぜならば、改修費用が削減されるとはいえ、非常に多額の改修費用をかけなければならないことには変わりなく、その投資に見合った効果が必要と考えるからである。その財政負担を市民に理解していただくためにも、クロスランドおやべの持つ資産価値をさらに高め、その存在意義を広く知らしめる必要がある。

そのためには、クロスランドおやべが持つ強み、魅力を十分に分析し、また、現在行っている各種事業についても見直しを行うことが必須であると考え。具体的な取り組みについては、来年度以降に、市と公益財団法人クロスランドおやべとが連携をとりながら、調査研究を行うべきである。

なお、その調査研究を行うにあたり、参考にすべき主な意見として、下記のとおり各委員から発言があった。

- ・文化振興の拠点であるという位置づけを明確にし、広く市民に知らしめること。関連する市民団体が利用しやすいようにするとともに、機運を高めるような働きかけを行うこと。
- ・クロスランドおやべが描くビジョンや果たすべきミッションを明確にすること。
- ・クロスランドおやべの魅力や価値を向上させる新たな取り組みを検討し、実施すること。
- ・稼働率、利用者数の増加に向けた取り組みの強化を行うこと。
- ・複合施設である強みを活かした新たな取り組みの創出に努めること。特に交流広場を核にしたイベント等の調査研究を行うこと。
- ・全国的には実施しているところがあっても、北陸地区などの近隣では実施していないようなイベント等を誘致するなど、近隣他施設との差別化を図れる事業の実施を検討すること。
- ・広報活動を強化することにより、広域的な認知度アップを図る必要がある。
- ・ライブ配信などの新しい技術や形態を活用した事業の取組を行い、知名度向上や稼働率向上につなげること。
- ・全国の成功事例を参考にした活性化策の調査研究を行うこと。（例：兵庫県のネスタリゾート神戸、岩手県のオガール紫波など）
- ・費用対効果の見極めを行う必要はあるが、削減の方向ばかりではなく、必要に応じて更なる投資を行うことも検討すべきである。
- ・ダ・ビンチテクノミュージアムは、その役割を終えたと考えられるので閉館し、その跡地利用について、調査研究を行うこと。

クロスランドおやべが整備された当時は、新しいことが始まるワクワク感が大いにあったが、約30年を経過した今、今回の議論をきっかけに、今後の30年に向けた新たなスタートを切る心構えと意欲をもって取り組むことが求められている。

クロスランドおやべの施設群は、効果的に利用できなければ負債となるが、逆に、効

果的な運用ができれば大きな財産となる。施設は利用を停止すれば急速に劣化していくものであり、また、閉鎖後に再度、同程度の施設を再建することも財政的に非現実的である。ここでは、せつかく保有している貴重な市民の財産をいかに効率的かつ有効に運用するかを、ギリギリまで検討することが必要との結論に達した。短期的な費用の縮減という目線に固執せず、未来の子どもたちのために、新たな魅力をこの場から発信する方策を考えていくべきだろう。特に、民間では公共財産に新たな活用方法を取り入れた成功事例も少なからず存在するので、既成概念にとらわれない柔軟な発想で現状を打破する方法を見出してほしい。

クロスランドおやべの運営を見直す中では、事業の企画運営に市民や外部の意見を取り入れる場の設置や、利用者懇談会の設置などにより、市民や利用者のニーズを把握すると共に、時代の流れを先取りする新しい考え方を取り入れる仕組みづくりの導入を検討することなどが提案された。

5. 施設再編の方向性について

先に述べた活性化策を行い、投資に見合った効果を得られるように努めることを前提として、施設再編の方向性を下記のとおり示す。なお、いずれの場合も事後保全の考え方を取り入れていることから、設備の故障等により、突発的に一定期間の休館を余儀なくされる恐れがあることには注意が必要である。

(1) メインホールのあり方

<方向性>

- ・床回転機構を維持したホールとして存続させる
- ・事後保全の考え方も取り入れ、最小限の改修範囲とする

<理由>

床回転機構があることで、客席と平土間への転換が可能であることから、多様なイベント等に柔軟に対応できるとともに、稼働率や利用人数の確保に貢献していることから、床回転機構の維持は必要である。なお、昇降装置駆動部は、今後30年間は耐久性を有することから、今回の改修の対象外とすること、また、そうすることで床機構を固定するよりも現状維持のほうが安価になると試算されることから、維持が適切と考える。また、交流広場と連動したホールイベントの開催等を視野に入れた場合に、柔軟な対応が可能であることも理由である。

(2) セレナホールのあり方

<方向性>

- ・音響反射効果のあるホールとして存続させる
- ・事後保全の考え方も取り入れ、最小限の改修範囲とする

<理由>

セレナホールは、座席数が365席の小ホールであり、音響反射に優れた音楽ホールでもある。メインホール程の座席数は必要ない規模の行事等や音楽行事においては、非常に使い勝手がよい施設である。

今回、最小限の改修範囲とした場合の費用と、廃止にした場合の費用を比較すると、その差額は約1億9,000万円（P10(2)セレナホールF欄とH欄の小計の差額）となるが、今後30年間の使用を考慮した場合、年あたりの費用負担は少なくなること、セレナホールの利用料金収入が入ること、大小2つのホールがあることでイベントの規模・内容に応じた機能分担ができる使い勝手の良さがあること、音楽ホールとしての特色・魅力による利用価値が高いこと、以上4点の観点から、その改修費用の差額以上にセレナホールが存続することの価値があるものと考えられることから、セレナホールそのものは、廃止ではなく維持すべきものとする。

また、音響反射の有無については、特定天井改修後の天井の形状において、音響効果のない単にフラットな天井とする場合と、音響効果を維持できる斜め天井とする場合とでは、その改修費用の差額が約2,000万円（P10(2)セレナホールF欄とG欄の小計の差額）であり、音楽ホールとしての価値との比較において、その差額は大きいものとは言

えないことから、音楽ホールとしての機能を維持すべきである。

(3) クロスランドタワーのあり方

<方向性>

- ・クロスランドタワーは、今後も存続させる
- ・エレベーターは、故障した場合も制御系の交換・修繕で対応し、利用可能な状態を維持する
- ・外壁改修、屋上防水改修は、クロスランドタワーの利用停止の有無にかかわらず必要なので実施する
- ・その他、全体として大きな不具合が生じないように適切な修繕工事を実施する

<理由>

再編計画におけるクロスランドタワーの方向性は、大きな不具合が生じた場合、利用停止とあるが、その一番の可能性は、エレベーターの部品供給がなくなることによるエレベーターの停止であった。今回の再算定において、部品供給がなくなっていた制御系については、制御系リニューアル工事の実施により利用延長が可能とのメーカーからの提案もあり、また金額も大幅に縮小されたことにより、修繕工事を実施することが適当と考えられる。(下記枠内参照)

さらに、クロスランドタワーについては、搭乗券による利用料金収入が年間9百万円程度(P24クロスランドタワー・望遠鏡の利用料金の計)あることから、搭乗できる環境を少しでも長く維持することが、かえって財政負担を軽くすることに繋がることも、改修を行うべき理由である。

クロスランドタワーの利用停止について

再編計画において、「大きな不具合が生じた場合利用停止」と位置づけたことにより、報道でも大きく取り上げられ、市民にはタワーにはもう登れないという認識が広まったと考える。しかし、現実には、エレベーターの制御系の部品の一部に製造停止となった部品はあるが、在庫品・汎用品で対応可能であり、現在も問題なく稼働しているところである。

平成29年の算定における認識では、在庫品等での対応も難しくなった時には、エレベーターの停止が余儀なくされ、全く新しくエレベーターを整備する費用が約2.4億円と試算されたことから、クロスランドタワーは利用停止とせざるを得ないと見込まれた。(改修費用約2.4億円は、エレベーターカゴ、巻上機、ガイドレール、制御系等の全取替となる改修によるものである。)

今回の再算定においては、制御系のみを交換することで、エレベーターは稼働し続けることが可能であり、その費用の試算は約1,800万円となったことから、既存不適格の解消が必要な大規模改修ではなく、通常修繕の範囲内での対応が可能となることが判明した。必要部品の供給も問題なく、したがってクロスランドタワーが立っている限り、エレベーターの停止は生じないものと考えられる。

一部の市民の間にクロスランドタワーを利用できなくなる、あるいはタワーそのものが廃止されるという誤った認識が見られることから、正しい事実を市民に周知することが必要と考える。

(4) 交流博覧館等のあり方

<方向性>

- ・事後保全の考え方も取り入れ、最小限の改修範囲とする
- ・ダ・ビンチテクノミュージアムは将来的に廃止する
- ・ダ・ビンチテクノミュージアム跡の利用方法も含め、施設の集約方法については、今後の検討課題とする

<理由>

交流博覧館を含め、その他の施設については、再編計画においては、集約（複合化）の方針であるが、共に耐用年数を有しており、収益性が高いことから、当面は、現在の形態のまま維持することとし、耐用年数を迎えるまでに集約化を図るべきと考える。

なお、交流博覧館のうち、ダ・ビンチテクノミュージアムは、その役割を終えたものと考えられるが、他の施設との集約を検討する中で、その跡地利用についても併せて検討する必要がある。

6. まとめ

今回の再算定により、今後必要な改修費用は、平成29年度に算定した額の約半分と見込まれるものであるが、それでもなお、多大な財政負担が必要なことに変わりはない。限られた市の財源を有効に活用する観点や、本市の文化振興の拠点、交流の拠点であるという観点を考慮し、今回の意見書を取りまとめたものであるが、今既にある小矢部市にとって貴重な財産を単に無くすのではなく、これまで以上に価値あるものとして活かすことが重要である。

今回の意見書を基に、市民が心豊かな生活を送ることができるよう、財政的な観点だけにとらわれることがないよう留意したうえで、今後のクロスランドおやべのあり方について、十分に検討されたい。

なお、次ページにおいて、今回の再編の方向性と、それを踏まえた再算定結果のとりまとめについて、簡単にまとめたものを示す。

■施設再編の方向性について

(1)メインホール

- ① 床回転機構を維持したホールとして存続する
- ② 事後保全の考え方も取り入れ、最小限の改修範囲とする

(2)セレナホール

- ① 音響反射効果のあるホールとして存続する
- ② 事後保全の考え方も取り入れ、最小限の改修範囲とする

(3)クロスランドタワー

- ① クロスランドタワーは、今後も存続させる
- ② エレベータは、故障した場合も制御系の交換・修繕で対応し、利用可能な状態を維持する
- ③ 外壁、屋上防水工事は、建物が存続する限り必要なので、実施する
- ④ その他の改修については、大きな不具合が生じないように適切な修繕工事を実施する

(4)交流博覧館等

- ① 事後保全の考え方も取り入れ、最小限の改修範囲とする
- ② ダ・ビンチテクノミュージアムは廃止する
- ③ ダ・ビンチテクノミュージアム跡の利用方法も含め、施設の集約方法については、今後の検討課題とする

■従来の改修費用と再算定結果(案⑩:P10)による改修費用との比較

単位:百万円

主な施設		H29年度算定の改修費用(議会報告数値)	再算定結果(案⑩)による予防保全改修費	再算定による改修内容概要
クロスランドセンター	メインホール	2,602	843	
	特定天井(既存不適格解消)	43	54	既存不適格は解消する。
	床機構(稼働席システム)	644	57	油圧関係のみ改修し、昇降駆動部は改修しない
	舞台関係設備(音響・照明・吊物)	686	422	制御盤、調整卓等を中心に最小限の範囲とする
	空調設備	425	112	冷温水発生器、中央監視制御装置改修。セレナホールと共通
	外壁・屋上防水	187	198	実施
	その他(電気・給排水・内装等)	617 ①	0	事後保全での対応とする。
	セレナホール	662	277	
	特定天井(既存不適格解消)	59	47	音響反射を考慮したものに変更。既存不適格は解消する。
	舞台関係設備(音響・照明・吊物)	209	168	制御盤、調整卓等を中心に最小限の範囲とする
	空調設備	183	11	空調機改修。冷温水発生器等はメインホールと共通のため、メインホールで計上
	外壁・屋上防水	48	51	実施
その他(電気・給排水・内装等)	163 ②	0	事後保全での対応とする。	
交流博覧館	クロスランドタワー	528	92	
	エレベーター(既存不適格未解消)	243	18	制御系リニューアル工事に対応する。既存不適格は解消しない。
	外壁・屋上防水	74	74	実施
	その他(電気・給排水・内装等)	211 ③	0	事後保全での対応とする。
	博覧館	379	74	
	エレベーター(既存不適格未解消)	34	0	既存不適格は解消しない。
	外壁・屋上防水	74	74	実施
その他(電気・給排水・内装等)	271 ④	0	事後保全での対応とする。	
予防保全改修費用計	4,171	1,286		
事後保全改修費用計		821	直近3か年平均工事費×30年 ※1	
合計	4,171	2,107		

※1

給排水等に係る予防保全の場合の試算の合計額(①～④の計)は、約12.6億円である。これは、まだ使用可能な内装、床、ドア、給排水配管、電気配線等であっても、全て取り替えた場合の費用を積算したものであり、実際にはあと30年使用可能なものが混在していることから、事後保全の対応においては、これまで要してきた平均的な修繕費をもって対応可能と推定される。

資 料 編

① 委員名簿

	役職	氏名	所属	所属先役職	区分
1	委員長	大氏 正嗣	富山大学芸術文化学部	教授	学識経験者
2	副委員長	山本 広志	高岡市民文化振興事業団事務局	エグゼクティブプロデューサー	学識経験者
3	委員	砂田 昇建	小矢部市自治会連合会	副会長	市民代表
4	委員	飛田 久子	小矢部市連合婦人会	会長	市民代表
5	委員	林 研	小矢部市PTA連絡協議会	理事	市民代表
6	委員	西尾 尚喜	小矢部青年会議所	理事	市民代表
7	委員	村上 一宏	小矢部市観光協会	会長	市民代表
8	委員	府録 弘之	小矢部市商工会	副会長	市民代表
9	委員	加賀谷 辰夫	小矢部市行財政改革推進市民会議	公募委員	市民代表
10	委員	西中 亜希子	小矢部市行財政改革推進市民会議	公募委員	市民代表
11	委員	埴生 雅章	小矢部市芸術文化連盟	会長	利用者代表
12	委員	松 清志	小矢部市吹奏楽団	団長	利用者代表

② 検討経過

回	日付	場所	議題
第1回	令和3年7月20日(火)	クロスランドおやべ会議室	<ul style="list-style-type: none"> 委員紹介 委員会設置経緯説明 対象施設の視察
第2回	令和3年9月30日(木)	クロスランドおやべ会議室	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の利用状況等について 各施設の役割・機能について
第3回	令和3年11月18日(木)	クロスランドおやべ会議室	<ul style="list-style-type: none"> クロスランドおやべ活性化策について 再算定業務の基本方針について 再算定業務のポイントについて
第4回	令和4年1月27日(木)	ZoomによるWEB会議形式	<ul style="list-style-type: none"> 再編工事費再算定の結果について 再編方針の検討について 意見書のとりまとめ方針について
第5回	令和4年3月3日(木)	クロスランドおやべ会議室	<ul style="list-style-type: none"> 意見書のとりまとめ
	令和4年3月24日(木)	教育長室	<ul style="list-style-type: none"> 意見書提出

③-1 クロスランドおやべの利用状況
(平成28年4月から平成31年3月までの3か年)

	センター内施設／メインホール								
	28年度			29年度			30年度		
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)
4月	7,000	697,270	38.5%	6,300	432,240	34.6%	5,600	389,820	30.8%
5月	3,500	281,020	17.9%	2,100	356,750	11.1%	3,500	178,762	18.5%
6月	6,300	766,183	36.0%	4,900	626,735	26.9%	6,300	1,126,692	34.6%
7月	11,200	1,686,265	59.3%	8,400	1,257,992	44.4%	9,800	1,007,818	51.9%
8月	8,400	305,962	46.2%	10,500	565,160	57.7%	9,800	475,830	53.8%
9月	7,000	353,223	38.5%	9,800	690,878	53.8%	5,600	554,948	30.8%
10月	11,200	1,681,586	59.3%	11,200	1,552,995	59.3%	7,700	1,309,948	42.3%
11月	9,800	1,720,978	56.0%	7,000	1,135,736	40.0%	11,900	1,881,000	65.4%
12月	8,400	1,259,288	50.0%	9,800	1,410,549	56.0%	7,000	989,132	41.7%
1月	3,500	234,193	18.5%	2,800	233,627	16.0%	4,200	295,139	23.1%
2月	5,600	1,037,629	33.3%	7,700	1,430,431	45.8%	6,300	1,136,952	37.5%
3月	7,000	1,139,720	38.5%	8,400	1,157,183	44.4%	3,500	584,480	18.5%
計	88,900	11,163,317	41.0%	88,900	10,850,276	40.8%	81,200	9,930,521	37.4%

	センター内施設／セレナホール								
	28年度			29年度			30年度		
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)
4月	1,200	334,984	23.1%	1,400	400,317	26.9%	1,000	217,771	19.2%
5月	600	33,100	10.7%	800	103,489	14.8%	800	83,484	14.8%
6月	2,000	432,225	40.0%	2,600	460,406	50.0%	2,400	377,608	46.2%
7月	2,200	631,053	40.7%	3,200	667,301	59.3%	2,600	482,255	48.1%
8月	800	74,694	15.4%	1,400	202,282	26.9%	1,200	153,144	23.1%
9月	1,000	115,036	19.2%	2,000	398,850	38.5%	1,800	395,616	34.6%
10月	2,800	477,864	51.9%	2,400	377,545	44.4%	2,400	502,994	46.2%
11月	1,600	400,204	32.0%	2,000	398,517	40.0%	2,200	515,614	42.3%
12月	2,400	414,580	50.0%	1,800	363,703	36.0%	1,800	345,292	37.5%
1月	1,200	113,914	22.2%	1,600	268,128	32.0%	1,000	126,478	19.2%
2月	2,200	496,679	45.8%	2,400	393,799	50.0%	1,600	225,046	33.3%
3月	2,400	521,237	46.2%	2,600	633,303	48.1%	2,200	448,585	40.7%
計	20,400	4,045,570	33.1%	24,200	4,667,640	38.9%	21,000	3,873,887	33.8%

	センター内施設／会議室								
	28年度			29年度			30年度		
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)
4月	270	22,040	34.6%	390	37,360	50.0%	390	29,895	50.0%
5月	450	53,810	53.6%	210	27,411	25.9%	390	46,180	48.1%
6月	420	57,984	56.0%	630	86,495	80.8%	450	61,410	57.7%
7月	480	81,506	59.3%	420	62,172	51.9%	360	43,860	44.4%
8月	420	37,200	53.8%	360	24,910	46.2%	420	39,780	53.8%
9月	360	51,252	46.2%	360	52,052	46.2%	510	72,830	65.4%
10月	420	53,720	51.9%	450	70,244	55.6%	450	59,040	57.7%
11月	510	79,606	68.0%	360	61,900	48.0%	540	81,517	69.2%
12月	390	46,974	54.2%	420	61,773	56.0%	360	62,221	50.0%
1月	450	67,759	55.6%	300	59,691	40.0%	300	31,947	38.5%
2月	420	74,138	58.3%	330	54,527	45.8%	360	54,104	50.0%
3月	600	91,062	76.9%	600	98,111	74.1%	450	54,186	55.6%
計	5,190	717,051	55.6%	4,830	696,646	51.8%	4,980	636,970	53.4%

	センター内施設／和室								
	28年度			29年度			30年度		
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)
4月	180	5,696	23.1%	240	7,540	30.8%	150	2,620	19.2%
5月	120	7,530	14.3%	150	6,380	18.5%	180	18,730	22.2%
6月	120	8,312	16.0%	180	11,545	23.1%	90	3,716	11.5%
7月	270	21,938	33.3%	270	16,850	33.3%	180	10,286	22.2%
8月	270	13,080	34.6%	240	7,440	30.8%	270	24,120	34.6%
9月	240	25,170	30.8%	270	26,790	34.6%	210	12,730	26.9%
10月	180	18,044	22.2%	270	18,878	33.3%	270	32,060	34.6%
11月	180	12,360	24.0%	120	10,224	16.0%	240	24,881	30.8%
12月	30	3,028	4.2%	240	22,647	32.0%	150	13,038	20.8%
1月	120	6,298	14.8%	90	4,724	12.0%	150	22,480	19.2%
2月	120	8,822	16.7%	120	7,116	16.7%	180	22,650	25.0%
3月	240	10,006	30.8%	450	32,622	55.6%	180	22,896	22.2%
計	2,070	140,284	22.2%	2,640	172,756	28.3%	2,250	210,207	24.1%

③-1 クロスランドおやべの利用状況
(平成28年4月から平成31年3月までの3か年)

	センター内施設/スタジオ1								
	28年度			29年度			30年度		
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)
4月	280	25,030	53.8%	340	35,900	65.4%	260	29,234	50.0%
5月	200	20,560	35.7%	180	16,950	33.3%	260	23,990	48.1%
6月	220	32,185	44.0%	260	38,631	50.0%	220	24,780	42.3%
7月	300	42,637	55.5%	200	34,046	37.0%	240	26,892	44.4%
8月	320	40,250	61.5%	340	40,864	63.0%	220	15,750	42.3%
9月	140	27,164	26.9%	320	39,864	61.5%	180	15,032	34.6%
10月	280	49,780	51.9%	260	32,743	48.1%	240	25,890	46.2%
11月	200	27,318	40.0%	180	20,396	36.0%	300	43,317	57.7%
12月	200	31,004	41.7%	240	36,852	48.0%	200	22,562	41.7%
1月	260	43,762	48.1%	160	25,584	32.0%	220	26,620	42.3%
2月	160	27,484	33.3%	260	34,504	54.2%	260	35,660	54.2%
3月	280	38,216	53.8%	340	43,601	63.0%	260	29,528	48.1%
計	2,840	405,390	45.7%	3,080	399,935	49.5%	2,860	319,255	46.0%

	センター内施設/スタジオ2								
	28年度			29年度			30年度		
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)
4月	240	64,814	46.2%	160	26,600	30.8%	180	42,370	34.6%
5月	180	49,260	32.1%	160	55,470	29.6%	300	75,500	55.6%
6月	160	42,699	32.0%	140	39,584	26.9%	140	31,350	26.9%
7月	300	113,346	55.6%	260	79,956	48.1%	140	36,798	26.9%
8月	160	39,650	30.8%	260	79,880	50.0%	240	66,980	46.2%
9月	240	79,172	46.2%	280	119,970	53.8%	260	83,908	50.0%
10月	280	78,280	51.9%	280	94,404	51.9%	220	71,740	42.3%
11月	200	72,658	40.0%	240	85,168	48.0%	320	131,700	61.5%
12月	160	78,188	33.3%	180	79,638	36.0%	100	33,946	20.8%
1月	140	40,280	25.9%	240	67,990	48.0%	240	54,430	46.2%
2月	200	60,602	41.7%	240	80,976	50.0%	260	99,348	54.2%
3月	280	83,162	53.8%	240	85,075	44.4%	280	110,046	51.9%
計	2,540	802,111	40.8%	2,680	894,711	43.1%	2,680	838,116	43.1%

	センター内施設/スタジオ3								
	28年度			29年度			30年度		
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	稼働率(%)
4月	360	43,180	61.5%	380	57,170	73.1%	440	62,626	84.6%
5月	300	50,560	53.6%	300	45,980	55.6%	340	42,910	63.0%
6月	320	48,020	64.0%	340	54,930	65.4%	320	58,690	61.5%
7月	360	67,465	66.7%	320	65,216	59.3%	300	54,132	55.6%
8月	340	56,340	65.4%	340	53,244	65.4%	300	40,590	57.7%
9月	320	48,440	61.5%	340	52,932	65.4%	140	22,858	26.9%
10月	280	57,910	51.9%	340	49,367	62.3%	260	39,500	50.0%
11月	240	45,700	48.0%	300	59,656	60.0%	240	48,005	46.2%
12月	300	50,408	62.5%	240	37,984	48.0%	160	25,530	33.3%
1月	240	46,620	44.4%	300	48,450	60.0%	160	26,432	30.8%
2月	340	64,444	70.8%	320	54,852	66.7%	200	32,020	41.7%
3月	420	64,814	80.8%	400	59,784	74.1%	220	36,440	40.7%
計	3,820	643,901	60.8%	3,920	639,565	63.0%	3,080	489,733	49.5%

	センター内施設/楽屋・控室(5)					
	28年度		29年度		30年度	
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)
4月	760	12,556	1,080	19,793	560	2,779
5月	360	1,000	210	5,090	560	7,324
6月	760	17,852	880	18,244	880	25,276
7月	1,160	30,214	640	19,947	720	18,411
8月	1,080	7,904	1,080	12,540	1,000	14,856
9月	760	6,738	920	29,208	480	12,426
10月	1,680	38,831	1,360	25,970	1,320	24,188
11月	1,160	34,092	840	20,439	1,520	70,517
12月	680	16,164	880	21,675	800	27,214
1月	440	9,684	240	11,196	360	9,444
2月	360	7,876	640	16,701	280	7,044
3月	1,120	27,543	1,760	52,041	760	16,819
計	10,320	210,454	10,530	252,844	9,240	236,298

③-1 クロスランドおやべの利用状況
(平成28年4月から平成31年3月までの3か年)

	センター内施設／その他(3)					
	28年度		29年度		30年度	
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)
4月	1,200	24,120	100	1,260	1,300	19,785
5月	600	8,240	0	0	400	3,990
6月	900	10,600	1,000	12,810	700	11,188
7月	800	10,416	300	5,670	200	4,068
8月	400	500	400	0	300	0
9月	800	10,070	1,000	10,536	900	13,802
10月	700	18,680	1,500	19,544	1,000	13,930
11月	1,200	23,834	900	16,874	1,800	28,099
12月	500	6,927	800	9,844	900	12,650
1月	600	11,375	500	11,615	200	6,815
2月	500	8,316	400	7,434	800	10,516
3月	1,000	13,440	1,700	27,080	700	6,820
計	9,200	146,518	8,600	122,667	9,200	131,663

	センター外施設／交流ひろば					
	28年度		29年度		30年度	
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)
4月	500	9,550	1,000	7,690	1,500	10,310
5月	6,000	57,780	4,000	21,390	2,000	18,420
6月	3,500	142,090	4,000	91,470	4,000	90,120
7月	2,000	66,090	3,000	47,670	2,000	64,480
8月	4,000	2,280	4,500	1,380	4,000	3,410
9月	5,500	52,720	4,500	46,340	6,000	67,820
10月	2,000	36,230	2,500	42,270	2,500	25,790
11月	2,500	74,840	3,500	80,220	2,000	48,000
12月	1,000	1,780	2,000	1,080	1,000	400
1月	1,500	1,000	1,000	900	500	860
2月	1,500	1,080	500	40	1,000	400
3月	2,000	11,190	5,500	14,690	2,000	5,240
計	32,000	456,630	36,000	355,140	28,500	335,250

	屋外施設／クロスランドタワー・望遠鏡					
	28年度		29年度		30年度	
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)
4月	3,054	865,410	3,286	930,620	2,980	817,910
5月	5,613	1,221,430	5,071	1,286,990	3,146	813,620
6月	1,887	520,490	1,780	490,400	1,859	531,170
7月	3,540	892,870	2,997	754,070	3,406	830,620
8月	3,566	1,010,050	3,911	1,103,750	3,330	956,770
9月	2,302	602,060	3,231	908,090	1,809	519,990
10月	4,798	1,168,380	2,860	490,045	2,327	592,830
11月	2,429	723,730	3,510	917,990	4,224	1,188,040
12月	3,487	1,162,010	3,414	1,157,000	4,183	1,446,550
1月	1,592	483,220	1,135	353,410	1,332	408,550
2月	1,095	297,960	392	120,410	843	246,920
3月	2,314	662,780	2,243	627,580	1,619	436,850
計	35,677	9,610,390	33,830	9,140,355	31,058	8,789,820

	屋外施設／ダ・ビンチ・テクノミュージアム					
	28年度		29年度		30年度	
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)
4月	307	41,540	384	52,670	668	90,990
5月	468	57,780	480	66,080	293	40,660
6月	178	24,770	260	30,560	265	39,140
7月	214	30,200	162	23,550	216	31,250
8月	501	69,500	709	92,010	620	86,160
9月	306	32,060	446	52,970	205	28,510
10月	363	50,570	186	27,870	353	43,440
11月	278	30,750	391	32,070	219	31,020
12月	181	21,160	126	15,320	159	20,160
1月	120	16,180	69	9,300	137	19,270
2月	102	13,740	69	9,480	125	18,410
3月	291	41,440	252	36,780	193	26,110
計	3,309	429,690	3,534	448,660	3,453	475,120

③-1 クロスランドおやべの利用状況
(平成28年4月から平成31年3月までの3か年)

	屋外施設／パターゴルフ					
	28年度		29年度		30年度	
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)
4月	357	177,810	327	135,900	428	219,810
5月	589	301,220	735	288,000	351	177,840
6月	246	123,830	134	57,430	142	72,100
7月	194	101,800	137	70,700	85	71,080
8月	496	265,670	627	343,620	390	213,570
9月	127	65,050	306	159,150	195	99,700
10月	399	195,550	275	137,480	305	149,460
11月	105	52,220	151	79,940	145	68,760
12月	43	20,770	51	23,480	34	17,070
1月	4	1,460	0	0	12	6,290
2月	0	0	0	0	54	28,820
3月	123	59,440	158	81,050	110	54,000
計	2,683	1,364,820	2,901	1,376,750	2,251	1,178,500

	屋外施設／オアシスハウス					
	28年度		29年度		30年度	
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)
4月	6,790	1,107,530	6,903	1,114,210	7,061	1,146,250
5月	10,691	1,742,910	10,524	1,683,310	6,278	1,034,150
6月	3,873	639,390	4,135	660,700	5,248	847,940
7月	2,803	453,410	2,155	350,260	1,264	212,400
8月	4,212	664,110	5,492	887,050	3,599	585,940
9月	3,330	527,640	6,472	1,029,970	3,856	621,480
10月	5,681	909,570	4,290	676,240	4,343	714,160
11月	3,127	507,120	2,644	425,670	4,431	727,000
12月	1,322	213,450	1,297	215,820	1,210	194,760
1月	450	72,740	28	5,230	989	156,670
2月	481	75,280	0	0	1,494	239,230
3月	6,311	1,008,760	5,504	896,340	2,961	483,190
計	49,071	7,921,910	49,444	7,944,800	42,734	6,963,170

	屋外施設／ミニ鉄道					
	28年度		29年度		30年度	
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)
4月	2,873	509,430	4,417	802,870	4,011	710,700
5月	5,482	1,046,440	6,397	1,235,950	2,843	528,720
6月	1,157	274,470	1,499	277,090	1,588	335,230
7月	1,037	170,380	886	160,350	673	120,550
8月	3,633	701,400	4,153	800,130	3,136	586,210
9月	1,670	327,850	3,569	656,910	1,172	222,450
10月	2,992	497,190	1,685	324,320	2,235	417,380
11月	799	134,460	1,516	246,850	855	156,530
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	50	13,000	0	0	0	0
計	19,693	3,674,620	24,122	4,504,470	16,513	3,077,770

	屋外施設／ふれあいハウス屋内遊具					
	28年度		29年度		30年度	
	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)	利用者数(人)	使用料・利用料金(円)
4月	-	-	-	-	263	55,950
5月	-	-	-	-	204	43,230
6月	-	-	-	-	161	33,870
7月	-	-	-	-	72	15,120
8月	-	-	-	-	110	23,190
9月	-	-	-	-	236	44,280
10月	-	-	-	-	156	32,280
11月	-	-	-	-	45	9,450
12月	-	-	-	-	0	0
1月	-	-	-	-	0	0
2月	-	-	-	-	0	0
3月	-	-	-	-	0	0
計	-	-	-	-	1,247	257,370

③-2 利用状況集計表

①行事種別ごとの利用状況（日数）

■メインホール

行事種別	28年度	29年度	30年度	計
音楽・演芸・舞踊	46	47	37	130
催事	51	44	54	149
講演	8	11	4	23
スポーツ	9	13	9	31
演劇	4	3	1	8
式典	15	18	13	46
計	133	136	118	387

■セレナホール

行事種別	28年度	29年度	30年度	計
音楽・演芸・舞踊	55	69	40	164
催事	13	19	13	45
講演	35	36	36	107
スポーツ	2	0	0	2
演劇	0	0	0	0
式典	12	14	30	56
計	117	138	119	374

■交流広場

行事種別	28年度	29年度	30年度	計
音楽・演芸・舞踊	1	2	1	4
催事	15	7	5	27
講演	0	1	0	1
スポーツ	14	12	10	36
演劇	0	0	0	0
式典	5	1	1	7
計	35	23	17	75

■クロスランドタワー展望階

行事種別	28年度	29年度	30年度	計
音楽・演芸・舞踊	0	0	0	0
催事	21	24	18	63
講演	0	0	0	0
スポーツ	0	0	0	0
演劇	0	0	0	0
式典	0	0	0	0
計	21	24	18	63

②主催団体ごとの利用状況（日数）

■メインホール

主催者区分	28年度	29年度	30年度	計
財団主催	18	24	20	62
財団共催	9	6	5	20
市主催	14	18	15	47
その他	92	88	78	258
計	133	136	118	387

■セレナホール

主催者区分	28年度	29年度	30年度	計
財団主催	6	6	5	17
財団共催	1	0	0	1
市主催	21	17	19	57
その他	89	115	95	299
計	117	138	119	374

■交流広場

主催者区分	28年度	29年度	30年度	計
財団主催	8	8	7	23
財団共催	1	1	0	2
市主催	4	2	0	6
その他	22	12	10	44
計	35	23	17	75

■クロスランドタワー展望階

主催者区分	28年度	29年度	30年度	計
財団主催	19	22	15	56
財団共催	0	0	0	0
市主催	0	0	0	0
その他	2	2	3	7
計	21	24	18	63

③利用形態ごとの利用状況（日数）

■メインホール

主催者区分	28年度	29年度	30年度	計
ホール	60	64	54	178
平土間	73	72	64	209
計	133	136	118	387

④ 類似施設との比較表

公立文化施設の運営情報調査報告(全国公立文化施設協会調べ)より(平成30年度実績)

ホールの稼働率 ・入場者数		クロスランド おやべ	類似施設	
			10万人未満市が設置し た施設	最大ホール座席数500 席～1,000席の施設
最大ホール	稼働率	37.4	47.0	51.9
	入場者数	81,200	33,032	36,708
第2ホール	稼働率	33.8	60.3	65.9
	入場者数	21,000	22,763	22,642

貸館事業実施状況		クロスランド おやべ	類似施設
			10万人未満市が設置し た施設
全体	事業数	103	162.0
	入場者数	25,000	35,176
音楽	事業数	38	38.9
	入場者数	7,000	10,380
演劇	事業数	0	4.7
	入場者数	0	2,012
舞踏	事業数	0	10.7
	入場者数	0	1,965
伝統芸能	事業数	4	4.6
	入場者数	1,300	1,107
演芸	事業数	1	3.7
	入場者数	700	1,590
総合	事業数	0	18.7
	入場者数	0	5,916
その他文化	事業数	0	14.9
	入場者数	0	2,918
文化以外	事業数	60	65.8
	入場者数	16,000	9,288

施設決算状況 (単位:千円)		クロスランド おやべ	類似施設	
			10万人未満市が設置し た施設	最大ホール座席数500 席～1,000席の施設
収入	指定管理料	144,199	79,932	89,835
	事業収入	13,891	10,783	15,367
	利用料金収入	37,811	16,586	22,599
	補助金	26,082	9,043	21,881
	その他	6,585	6,015	6,321
	合計	228,568	122,359	156,003
支出	事業費	40,082	28,889	35,099
	管理運営費	94,785	46,977	61,496
	人件費	96,376	32,982	39,313
	その他	0	12,680	10,657
	合計	231,243	121,528	146,565